



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場取引所 大名

上場会社名 株式会社 太平製作所

コード番号 6342 URL <http://www.taihei-ss.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 神谷 慎二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 桂山 哲夫

TEL 0568-73-6411

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	3,140	△15.5	108	△80.1	116	△78.4	60	△88.7
24年3月期第3四半期	3,717	152.3	544	—	539	—	536	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 57百万円 (△89.4%) 24年3月期第3四半期 540百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	4.51	—
24年3月期第3四半期	39.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	円 銭	
25年3月期第3四半期	6,586		3,126		47.5	232.84		
24年3月期	6,661		3,122		46.9	232.57		

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,126百万円 24年3月期 3,122百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,850	△9.4	260	△59.5	275	△56.5	160	△76.9	11.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	15,000,000 株	24年3月期	15,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	1,574,354 株	24年3月期	1,574,354 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	13,425,646 株	24年3月期3Q	13,426,303 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災から約1年9ヶ月が経過し、復旧作業も若干遅れ気味ではありますが徐々に進みました。一方海外においては、欧州を中心とした経済状況の減速感や為替変動等の影響もあり、依然として不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の当社グループは、営業活動と開発活動に尽力しましたが、売上高につきましては3,140百万円（前年同四半期比15.5%減）となりました。

利益につきましては、売上の落ち込みに加え、材料費の高騰等もあり、営業利益は108百万円（前年同四半期比80.1%減）、経常利益は116百万円（前年同四半期比78.4%減）、四半期純利益は、60百万円（前年同四半期比88.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①合板機械事業

合板機械事業は、住宅着工戸数が緩やかながら持ち直しの動きは継続しているものの、円高の影響もあり合板業界全体の需要は減退しており、このことが売上減少へと影響し、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,651百万円（前年同四半期比35.4%減）となりました。営業利益につきましては、コスト削減に努めましたが、77百万円（前年同四半期比85.7%減）と前年同四半期を下回る結果となりました。

②木工機械事業

木工機械事業は、営業活動の展開と機械の開発努力を行った結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は816百万円（前年同四半期比66.2%増）と、前年同四半期の売上高を大きく上回る結果となりました。営業利益につきましては、売上高の増加に加え、原価管理をきめ細かく実施し、コスト削減に努めた結果、110百万円（前年同四半期比243.1%増）となりました。

③住宅建材事業

住宅建材事業は、住宅建材業界全体に一部持ち直しの動きが見え始めてはおりますが、東日本大震災以後、木材製品等の価格は高騰していることから住宅建材全体の需要としては大変厳しい状況下にあります。当第3四半期連結累計期間の売上高は、このような状況の中で営業活動に努力した結果、671百万円（前年同四半期比0.7%増）と、前年同四半期を若干上回る結果となりました。営業利益につきましては、経費削減等にも最大限努力しましたが、22百万円（前年同四半期比14.9%減）と、前年同四半期を下回る結果となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.7%減少し、4,553百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が534百万円減少し、たな卸資産が265百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて8.0%増加し、2,033百万円となりました。これは主に、有形固定資産が158百万円増加し、無形固定資産が7百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.1%減少し、6,586百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.1%減少し、2,582百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が194百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.9%増加し、877百万円となりました。これは主に、長期借入金が100百万円減少し、その他に含まれているリース債務が136百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.2%減少し、3,460百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.1%増加し、3,126百万円となりました。これは主に、利益剰余金が6百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、少しずつ円安方向に向かっており、国内の経済の動向は上向きになるとの予想がある反面、住宅着工戸数は右肩上がりの状態になったものの、いまだ回復したと呼ぶには程遠い状況であり、また、材料価格の高騰が続いており、不透明な厳しい状況は続くものと思われま。先行きについては、雇用や所得環境の推移や東日本大震災からの復興状況、国内の景気の動向を引き続き慎重に見極める必要があるものと思われま。

このような状況の中、当社の主力合板機械事業での大型機械は全て受注生産であり、受注から売上計上に至るまでには、長期間を要することなどもあり、安定した売上を計上することが極めて困難な状況です。一方、新製品の開発や現状生産している機械の改良・改善にも日々努力を重ねておりますが、お客様に提供するには到達していないのが現状です。

当社グループは、このような問題を出来るだけ解決するよう努めますとともに、積極的な営業活動と原価管理に一層力を入れ、設備の稼働が安全に出来るようなバックアップ体制の構築に努めるなど、グループ一丸となって取り組んでまいり所存であります。

なお、連結業績予想につきましては、当社グループが現時点において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の様々な要因により、異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,633,608	2,547,477
受取手形及び売掛金	1,328,398	793,720
有価証券	—	100,000
製品	31,688	89,671
仕掛品	548,215	775,719
原材料及び貯蔵品	178,669	158,190
その他	68,391	96,726
貸倒引当金	△9,742	△7,993
流動資産合計	4,779,229	4,553,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	726,485	708,355
土地	689,746	689,746
その他（純額）	88,963	265,965
有形固定資産合計	1,505,196	1,664,067
無形固定資産	45,405	37,478
投資その他の資産	331,462	331,680
固定資産合計	1,882,064	2,033,226
資産合計	6,661,294	6,586,739
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,174,369	979,502
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	57,680	138
賞与引当金	66,344	31,774
役員賞与引当金	18,600	21,000
受注損失引当金	24,796	—
その他	301,902	500,455
流動負債合計	2,693,692	2,582,871
固定負債		
長期借入金	400,000	300,000
繰延税金負債	146,441	147,566
退職給付引当金	203,173	196,450
役員退職慰労引当金	67,473	9,049
その他	27,990	224,761
固定負債合計	845,078	877,828
負債合計	3,538,770	3,460,699

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	77,201	77,201
利益剰余金	2,487,046	2,493,896
自己株式	△205,485	△205,485
株主資本合計	3,108,761	3,115,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,761	10,427
その他の包括利益累計額合計	13,761	10,427
純資産合計	3,122,523	3,126,040
負債純資産合計	6,661,294	6,586,739

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	3,717,146	3,140,011
売上原価	2,617,365	2,482,990
売上総利益	1,099,780	657,020
販売費及び一般管理費	555,044	548,618
営業利益	544,735	108,402
営業外収益		
受取利息	676	517
受取配当金	3,739	3,534
鉄屑売却収入	2,738	2,840
助成金収入	1,955	—
デリバティブ評価益	1,140	4,922
為替差益	—	2,106
その他	3,880	8,120
営業外収益合計	14,130	22,040
営業外費用		
支払利息	11,881	10,539
為替差損	6,155	—
その他	1,690	3,194
営業外費用合計	19,728	13,733
経常利益	539,138	116,709
特別損失		
固定資産除売却損	301	2,519
投資有価証券評価損	32,589	—
特別損失合計	32,891	2,519
税金等調整前四半期純利益	506,247	114,190
法人税、住民税及び事業税	852	25,210
法人税等調整額	△31,368	28,426
法人税等合計	△30,516	53,637
少数株主損益調整前四半期純利益	536,763	60,553
四半期純利益	536,763	60,553

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	536,763	60,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,365	△3,333
その他の包括利益合計	3,365	△3,333
四半期包括利益	540,129	57,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	540,129	57,219
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	2,558,844	491,511	666,790	3,717,146
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,490	—	2,490
計	2,558,844	494,001	666,790	3,719,636
セグメント利益	546,401	32,109	25,970	604,481

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	604,481
セグメント間取引消去	△2,490
全社費用（注）	△57,255
四半期連結損益計算書の営業利益	544,735

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	合板機械事業	木工機械事業	住宅建材事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	1,651,817	816,679	671,514	3,140,011
セグメント間の内部売上高及び振替高	—	127	—	127
計	1,651,817	816,807	671,514	3,140,139
セグメント利益	77,928	110,183	22,095	210,207

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	210,207
セグメント間取引消去	△127
全社費用（注）	△101,676
四半期連結損益計算書の営業利益	108,402

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。